

抗不安薬・催眠薬

鎮静および静穏作用を持つ薬の昔の分類

- 強力精神安定薬 (Major Tranquilizer)

- 穏和精神安定薬 (Minor Tranquilizer)

抗不安薬・催眠薬

鎮静および静穏作用を持つ薬の昔の分類

- 強力精神安定薬 (Major Tranquilizer)

- 穏和精神安定薬 (Minor Tranquilizer)

鎮静・催眠薬

- 鎮静・催眠薬は正常の睡眠と似た中枢神経抑制状態を起こす薬である。

作用としては

GABA神経系の増強

二種類に大別できる

•Barbiturate系薬

•Benzodiazepine系薬

Barbiturate系薬

- 作用時間

- 超短時間 チオペンタール 麻酔導入薬
- 短時間 ペントバルビタール
- 中間型 アモバルビタール
- 長時間型 フェノバルビタール 抗てんかん薬

Barbiturate系薬

- 作用機序

GABA_A受容体に作用してGABAの作用を増強してCl⁻チャンネルの開口時間を延長する。

20世紀中は、最も重要な鎮静・催眠薬として使用されてきたが、薬物依存や薬物相互作用などの問題で最近あまり使われなくなった。

Benzodiazepine系薬

GABA_A受容体に作用してGABAの作用を増強してCl⁻チャネルの開口頻度を増加させる。

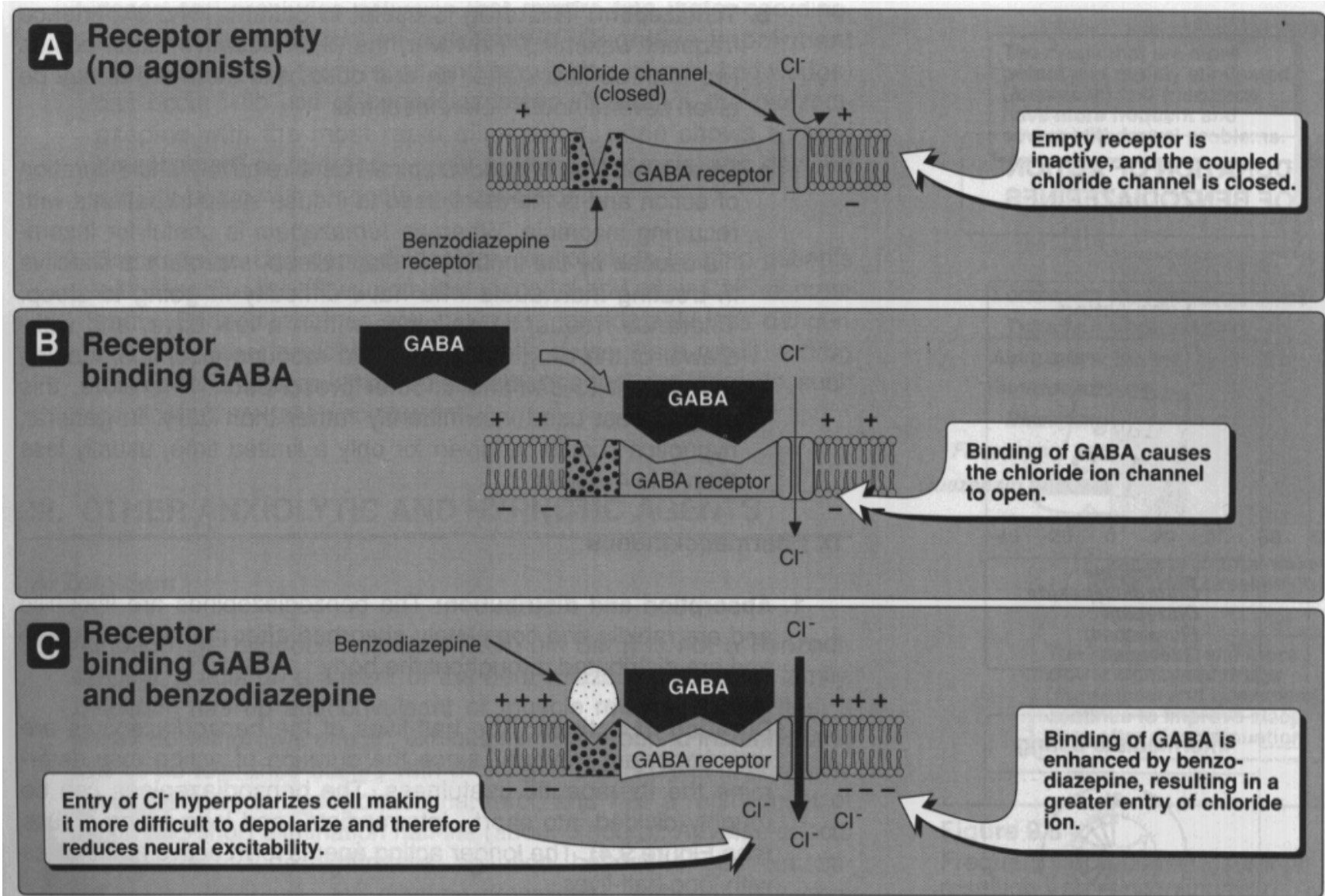
Benzodiazepine系薬の作用

1. 抗不安作用 少量
2. 鎮静作用 中程度
3. 睡眠作用 大量
4. 抗けいれん作用
5. 骨格筋弛緩作用

Benzodiazepine系薬の作用

- 作用時間(半減期による分類)
 - 短時間型(数時間以内)
 - 中間型(1日程度)
 - 長時間型(1日以上)

Benzodiazepine受容体



臨床応用

- 薬理作用にはあまり差がない
- 薬物動態には差がある。

生体が薬に及ぼす作用

薬が生物系に及ぼす作用